

米中貿易戦争と航空貨物・海上貨物

掲載誌・掲載年月：Daily Cargo（旧日刊 CARGO）201906

（公財）日本海事センター 企画研究部

主任研究員 松田 琢磨

1. はじめに

米中間の貿易摩擦に端を発する米中貿易戦争は、トランプ米大統領が2019年5月、家電製品など5,745品目の関税率を10%から25%へ上昇させると発表した後、緊張度が高まった。中国側も対抗して19年6月に木材やLNGなどの品目について関税率を10%から25%に上げることを発表した。

以前の記事（18年11月16日付日刊 CARGO）で述べたとおり、一国の貿易赤字は本質的に政府部門を含めた国内貯蓄と投資の問題で、関税率を上げて輸入を減らしても他国からの輸入が増える帰結となる。しかし、今も関税競争は続き、両国経済への影響も無視できない。IMF（国際通貨基金）が発表した世界経済見通しでは米国が関税を上げた品目の中国からの輸入額は減少傾向にあり、全品目で米中が相互に関税率を25%まで上げた場合、米中の貿易額は短期的に25～30%、長期的には30～70%の下落につながると推計している。

本稿では、執筆時点で比較可能な19年第一四半期についてアジア18か国・米国間の貿易動向を航空貨物・海上貨物（コンテナおよびコンテナ以外）の輸送形態別で簡単に検証する。使用データはデカルト・データマイン社発表のデータマインセンサスで、米国商務省発表の貿易統計をもとにしている。今回は米国の対中貿易赤字に焦点を当てるため、貿易額データを用いた。ただし、直近では「中国の値引き輸出」が増え、18年第一四半期と19年第一四半期を比較すると1kg当たり10.4%の価格下落が起こっている。そのため、海上コンテナ貿易額の減少と海上コンテナ輸送量の減少のリンクは少し割り引かれる可能性がある点も注記しておく。

ちなみに、貿易統計では、輸出でFOB（本船渡条件）価格、輸入でCIF（運賃・保険料込み条件）を使うが、本稿では輸出・輸入の双方でFOB価格を用いた。また、データマインセンサスでは航空輸送での貿易額と海上輸送での貿易額の合計と総貿易額は一致していない。これは陸上輸送の項目がないことに加え、何らかの理由で輸送モード別の統計に漏れが生じているためである。

2. アジアから米国への金額ベース輸出動向

表1には19年第一四半期のアジア各国から米国への輸出額と18年第一四半期からの変化率（成長率）、さらにアジアから米国への輸出総額の変化に対する寄与度を輸送形態別に示している。中国から米国への輸出額は前年同期比13.9%減となった。同時期に輸出額が減少したのはインドネシア、マレーシア、フィリピンおよび香港で、香港以外は5%未満の減少にとどまっている。他方、ベトナム40.2%増、台湾21.2%増、韓国18.4%増、インド15.2%増などと各国で大幅な増加がみられる。アジア全体では1.4%減であり、中国からの輸出減がアジア全体からの輸出減に寄与した。

ちなみに寄与度は各国の輸出額の変化が全体の貿易額をどの程度変化させたかを表す指標である。たとえば、表1の19年第一四半期の中国からの輸出額の寄与度-7.0%は、全体の変化率-1.4%を上回るネガティブな変動を中国からの輸出減がもたらしたことを示す。また、寄与度の合計はアジアから米国への輸出額の変化率に等しい。

中国の輸出減は航空輸送(-3.7%)、と海上コンテナ輸送(-2.6%)の減少が大きく寄与した。これをベトナム、韓国、台湾、インドで4.9%分カバーした。とくにベトナム、韓国、台湾からは航空貨物の輸出額増が著しく、これら三国からの航空輸送で2.2%分の寄与があった。また、ベトナム、韓国、台湾、インド、タイ、マレーシアでは海上コンテナ輸送による輸出額の増加が計2.0%分の寄与となった。

表1：2019年第一四半期のアジア各国から米国への輸送形態別輸出額
(単位：億ドル)、変化率と寄与度

	輸出額(単位:億ドル)				変化率				寄与度			
	全体	航空輸送	海上輸送 (コンテナ 以外)	海上コンテ ナ輸送	全体	航空輸送	海上輸送 (コンテナ 以外)	海上コンテ ナ輸送	全体	航空輸送	海上輸送 (コンテナ 以外)	海上コン テナ輸送
中国	1,059.74	272.06	23.56	684.45	-13.9%	-24.9%	-16.3%	-8.6%	-7.0%	-3.7%	-0.2%	-2.6%
日本	360.01	85.60	121.91	140.20	2.9%	2.9%	7.0%	-1.4%	0.4%	0.1%	0.3%	-0.1%
ベトナム	159.68	55.93	1.88	97.26	40.2%	101.0%	-4.4%	20.9%	1.9%	1.1%	0.0%	0.7%
インド	146.72	50.99	16.90	75.22	15.2%	7.1%	51.5%	13.6%	0.8%	0.1%	0.2%	0.4%
韓国	198.84	57.25	57.88	73.86	18.4%	33.4%	19.7%	8.5%	1.3%	0.6%	0.4%	0.2%
台湾	126.65	48.10	6.58	65.31	21.2%	30.9%	10.1%	17.0%	0.9%	0.5%	0.0%	0.4%
タイ	78.98	25.52	3.11	46.84	5.2%	-8.0%	48.4%	12.7%	0.2%	-0.1%	0.0%	0.2%
インドネシ ア	50.18	4.34	4.31	40.13	-3.7%	3.7%	-49.3%	4.9%	-0.1%	0.0%	-0.2%	0.1%
マレーシ ア	91.35	57.28	2.44	29.16	-1.6%	-7.5%	-10.5%	21.3%	-0.1%	-0.2%	0.0%	0.2%
シンガポ ール	62.68	42.78	2.05	16.53	7.4%	4.0%	-8.2%	30.4%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%
バングラ デシュ	17.72	1.07	0.04	16.39	15.5%	-5.9%	-2.9%	17.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
フィリピン	29.73	13.51	0.83	14.24	-0.5%	-1.4%	-41.4%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
カンボジ ア	11.21	0.65	0.06	10.12	24.0%	5.7%	73.1%	23.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
パキスタ ン	9.77	0.59	0.15	8.63	10.7%	-14.0%	49.0%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スリランカ	7.66	1.77	0.03	5.66	8.0%	-25.8%	11.0%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
香港	10.90	7.77	0.18	2.47	-26.4%	-15.8%	-56.2%	-45.7%	-0.2%	-0.1%	0.0%	-0.1%

ミャンマー	1.67	0.37	0.01	1.22	80.7%	206.9%	-41.3%	60.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
マカオ	0.37	0.32	0.00	0.04	39.6%	164.9%	-65.7%	-70.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
アジア合 計	2,423.83	725.90	241.93	1,327.72	-1.4%	-4.9%	6.5%	-0.2%	-1.4%	-1.5%	0.6%	-0.1%
世界合計	5,984.71	1,564.19	798.09	1,938.26	-0.1%	-0.1%	-4.9%	1.9%				

データ出所：デカルト・データマイน์

3. 中国から米国への品目別輸出動向

表2は19年第一四半期の中国から米国への品目別（HS2ケタ分類）輸出額と18年第一四半期からの変化率、中国の輸出総額の変化に対する寄与度を輸送形態別に示している。前年同期比で中国からの輸出額減が大きかった20品目を示している。

寄与度では、半導体を含む電気機器類・部品（HS85、寄与度-5.3%）、ボイラー・機械類（HS84、同-4.4%）が輸出額減の70.0%を占める。これら品目ではとくに航空輸送の減少が著しく、両品目合計の航空輸送による輸出額の寄与度は-7.1%分で、航空輸送全体の減少-6.9%を上回る。電気機器と機械類の高付加価値品目で中国からの輸出額減少の半分以上を占める。

電気機器類・部品やボイラー・機械類は海上コンテナ輸送の減少も大きく、全品目での寄与度が-5.2%分であったのに対し二品目で計-1.8%の寄与度となる。それ以外に家具・寝具・照明器具類（HS94、海上コンテナ輸送の寄与度-0.8%）、がん具類（HS95、同-0.5%）、革製品・ハンドバッグ類（HS42、同-0.3%）、有機化学品（HS29、同-0.3%）、アルミニウム及びその製品（HS76、同-0.3%）といった、主に海上コンテナで輸送される品目の輸出減も大きく、これら5品目の寄与度は計-2.1%となる。

表2：2019年第一四半期の中国から米国への品目別・輸送形態別貿易額
(単位：億ドル)、変化率と寄与度

品目名(数字はHSコード(2ケタ))	貿易額				変化率				寄与度			
	輸出額	航空貨物	コンテナ以外の海上貨物	海上コンテナ貨物	輸出額	航空貨物	コンテナ以外の海上貨物	海上コンテナ貨物	輸出額	航空貨物	コンテナ以外の海上貨物	海上コンテナ貨物
85 - 電気機器類・部品	279.04	138.40	3.08	119.67	-19.0%	-26.0%	-18.8%	-7.2%	-5.3%	-3.9%	-0.1%	-0.8%
84 - ボイラー・機械類と部品	217.52	84.61	5.18	113.43	-20.1%	-31.5%	-13.6%	-9.8%	-4.4%	-3.2%	-0.1%	-1.0%
94 - 家具・寝具・照明器具類	70.99	0.98	0.45	65.13	-12.9%	4.7%	-13.1%	-12.7%	-0.9%	0.0%	0.0%	-0.8%
95 - がん具類	41.81	1.57	0.37	35.57	-13.0%	-11.4%	3.4%	-14.6%	-0.5%	0.0%	0.0%	-0.5%
42 - 革製品・ハンドバッグ類	12.23	0.73	0.21	10.79	-25.4%	-36.4%	-30.3%	-25.5%	-0.3%	0.0%	0.0%	-0.3%
29 - 有機化学品	22.25	3.41	0.53	16.80	-13.6%	21.6%	-15.8%	-19.0%	-0.3%	0.0%	0.0%	-0.3%
76 - アルミニウム及びその製品	5.97	0.17	0.09	5.13	-34.7%	-19.8%	-21.9%	-38.7%	-0.3%	0.0%	0.0%	-0.3%

73 - 鉄鋼製品	28.68	0.48	0.93	25.01	-9.9%	-0.6%	-20.0%	-10.0%	-0.3%	0.0%	0.0%	-0.2%
44 - 木材及びその製品・木炭	7.42	0.07	0.21	6.80	-27.8%	26.8%	-68.5%	-25.0%	-0.2%	0.0%	0.0%	-0.2%
90 - 光学機器・精密機器類と部品	27.47	11.39	0.62	13.82	-8.8%	-18.3%	-17.2%	0.3%	-0.2%	-0.2%	0.0%	0.0%
68 - 石・セメント類	2.60	0.06	0.12	2.25	-50.2%	4.0%	-44.4%	-51.4%	-0.2%	0.0%	0.0%	-0.2%
87 - 自動車・自動車部品など	35.81	0.50	3.45	25.10	-4.9%	-22.5%	55.9%	-4.5%	-0.2%	0.0%	0.1%	-0.1%
40 - ゴム及びその製品	7.60	0.16	0.13	6.32	-19.3%	-3.6%	-27.1%	-21.5%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
20 - 野菜・果実類の調製品	1.46	0.00	0.01	1.41	-52.8%	361.0%	-64.4%	-52.5%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
03 - 魚介類	3.70	0.00	0.01	3.65	-30.3%	-63.5%	-39.4%	-30.4%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
16 - 肉・魚介類の調製品	0.91	0.01	0.00	0.89	-50.8%	23.5%	-82.2%	-50.9%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
48 - 紙・板紙・パルプ・紙・板紙製 品	6.44	0.25	0.09	5.68	-11.6%	24.4%	-25.1%	-14.0%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
27 - 鉱物性燃料及び鉱物油	0.85	0.00	0.61	0.23	-48.2%	-34.1%	-57.4%	13.9%	-0.1%	0.0%	-0.1%	0.0%
33 - 精油・化粧品類	2.67	0.17	0.08	2.25	-20.0%	-20.5%	7.2%	-23.5%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
64 - 履物類	35.18	1.39	0.16	33.07	-1.8%	4.4%	10.7%	-1.9%	-0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%
その他	249.15	27.71	7.22	191.47	-0.7%	23.3%	-23.4%	0.2%	-0.1%	0.4%	-0.2%	0.0%
合計	1,059.74	272.06	23.56	684.45	-13.9%	-23.8%	-16.3%	-8.6%	-13.9%	-6.9%	-0.4%	-5.2%

データ出所：デカルト・データマイン

4. 米国からアジアへの金額ベース輸出動向

表3には19年第一四半期の米国からアジア各国への輸出額と18年第一四半期からの変化率、さらに米国からアジア各国への輸出総額の変化に対する寄与度を輸送形態別に示している。米国から中国への輸出額は前年同期比18.8%減となった。同時期に前年同期比減なのはシンガポール、パキスタン、バンラデシュ、インドネシア、および香港であり、香港を除けば10%未満の減少であった。一方で、タイでは19.2%増、インド19.0%増、ベトナム16.9%増、台湾16.3%増となった。アジア全体では前年同期比3.9%減となった。

寄与度でも、中国向け輸出の減少は-5.6%分となり、アジアへの輸出減-3.9%を上回った。中国向け輸出減はコンテナ以外の海上輸送(-6.4%)と海上コンテナ輸送(-2.3%)の減少が大きく寄与している。一方で中国への輸出減少分をインド、台湾、日本、タイ、韓国で計3.9%分カバーした。とくにインド、韓国、日本向け輸出ではコンテナ以外の海上貨物の増加が著しく、これら三国への海上輸送分で4.3%分の寄与に達する。インド、韓国、日本向け輸出品目ではシェールオイルが急増し、韓国、日本向けではLPG、LNGも増加した。

変化率では、米国からの航空輸送による輸出額が中国向けで16.7%減り、アジア全体でも10.8%減少している。海上コンテナ輸送については中国向けが26.0%減、アジア向け全体でも7.3%減であった。しかし、寄与度で見ると、航空輸送と海上コンテナ輸送は他国向け輸出でカバーしきれないほどの大きな変化は見られていない。

表 3：2019 年第一四半期の米国からアジア各国への輸送形態別輸出額
(単位：億ドル)、変化率と寄与度

	貿易額				変化率				寄与度			
	輸出額	航空貨物	コンテナ 以外の海 上貨物	海上コン テナ貨物	輸出額	航空貨物	コンテナ 以外の海 上貨物	海上コン テナ貨物	輸出額	航空貨物	コンテナ 以外の海 上貨物	海上コン テナ貨物
中国	259.94	0.78	50.94	70.38	-18.8%	-16.7%	-36.2%	-26.0%	-5.6%	0.0%	-6.4%	-2.3%
日本	182.59	0.58	47.45	50.32	4.6%	-9.1%	13.7%	-3.1%	0.7%	0.0%	1.1%	-0.2%
韓国	135.02	0.33	44.13	38.49	3.3%	-11.1%	25.9%	6.1%	0.4%	0.0%	1.6%	0.2%
インド	88.08	0.19	29.32	20.92	19.0%	-2.9%	54.5%	15.2%	1.3%	0.0%	1.6%	0.3%
香港	82.12	0.26	1.42	12.20	-23.3%	-6.4%	-25.3%	-20.7%	-2.3%	0.0%	-0.4%	-0.3%
台湾	74.56	0.18	17.38	17.12	16.3%	-7.8%	14.9%	-12.8%	1.0%	0.0%	0.4%	-0.2%
シンガポール	73.78	0.28	9.84	13.17	-5.3%	-9.6%	-3.1%	-6.2%	-0.4%	0.0%	-0.1%	-0.1%
タイ	35.79	0.11	11.33	9.98	19.2%	4.0%	50.8%	4.1%	0.5%	0.0%	0.7%	0.0%
マレーシア	29.94	0.11	1.55	8.77	-6.0%	-13.0%	25.5%	38.4%	-0.2%	0.0%	0.2%	0.2%
ベトナム	24.73	0.08	2.90	14.24	16.9%	29.5%	19.3%	21.9%	0.3%	0.0%	0.3%	0.2%
フィリピン	21.07	0.05	4.49	5.85	3.4%	-48.6%	6.2%	2.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
インドネシア	19.44	0.04	4.83	11.05	6.4%	2.3%	9.8%	11.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%
パキスタン	7.65	0.01	1.58	4.81	-8.9%	-21.3%	-11.9%	-14.7%	-0.1%	0.0%	-0.1%	-0.1%
バングラデシュ	3.68	0.00	1.38	1.95	-5.4%	1.3%	-2.8%	-13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
マカオ	2.18	0.00	0.01	0.06	106.5%	21.9%	-14.0%	-11.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
カンボジア	1.22	0.00	0.04	1.09	27.2%	27.1%	24.4%	24.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
スリランカ	0.94	0.00	0.05	0.60	16.9%	7.4%	24.7%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ミャンマー	0.78	0.00	0.05	0.49	17.4%	-10.9%	10.9%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
アジア合計	1,043.52	3.01	228.68	281.49	-3.9%	-10.8%	-1.9%	-7.3%	-3.9%	0.0%	-0.9%	-2.0%
世界合計	4,082.21	8.37	721.97	705.16	1.4%	-4.4%	4.0%	-1.1%				

データ出所：デカルト・データマイน์

5. 米国から中国への品目別輸出動向

表 4 には 19 年第一四半期における米国から中国への品目別 (HS2 ケタ分類) 輸出額と 18 年第一四半期からの変化率、中国から米国への貿易総額の変化に対する寄与度を輸送形態別で示している。表 2 と同様、前年同期比で中国への輸出減が大きかった 20 品目を示している。

寄与度をみると、鉱物性燃料及び鉱物油 (HS27、寄与度-7.6%)、採油・飼料用植物類 (HS12、同-2.4%) および穀物 (HS10、同-1.5%) が輸出減の 61.3%を占める。とくにタンカー輸送やバルク輸送貨物の減少が著しい。鉱物性燃料では、メキシコ湾やボルチモアから輸出されるシェールオイル、LPG の輸入減が大半を占める。採油・飼料用植物の多くは大豆であり、主にバルク輸送の大豆輸入をブラジルに切り替

えたため輸入が減少した。穀物についてもバルク輸送での輸入が急減した。

海上コンテナ輸送で輸入減少が大きいのは銅及びその製品（HS74、海上輸送コンテナ輸送の寄与度-1.0%）、木材及びその製品並びに木炭（HS44、同-0.9%）、綿及び綿織物（HS52、同-0.7%）などである。これらは比較的コンテナ化の進行した品目である。航空輸送の変動の寄与はほぼゼロであった。

表 4：2019 年第一四半期の米国から中国への品目別・輸送形態別貿易額
(単位：億ドル)、変化率と寄与度

品目名(数字は HS コード (2ケタ))	貿易額				変化率				寄与度			
	輸出額	航空貨物	コンテナ以外の海上貨物	海上コンテナ貨物	輸出額	航空貨物	コンテナ以外の海上貨物	海上コンテナ貨物	輸出額	航空貨物	コンテナ以外の海上貨物	海上コンテナ貨物
27 - 鉱物性燃料及び鉱物油	7.67	0.00	7.37	0.28	-76.0%	3.0%	-76.1%	-73.6%	-7.6%	0.0%	-7.3%	-0.2%
12 - 採油・飼料用植物類	17.97	0.00	17.08	0.82	-30.4%	25.7%	-28.4%	-54.1%	-2.4%	0.0%	-2.1%	-0.3%
10 - 穀物	0.14	0.00	0.10	0.03	-97.2%	97.8%	-97.8%	-81.6%	-1.5%	0.0%	-1.4%	0.0%
74 - 銅及びその製品	1.51	0.00	0.27	1.02	-71.4%	-14.4%	-72.2%	-75.5%	-1.2%	0.0%	-0.2%	-1.0%
44 - 木材及びその製品並びに木炭	4.36	0.00	0.46	3.80	-45.9%	18.0%	-62.4%	-43.0%	-1.2%	0.0%	-0.2%	-0.9%
84 - ボイラー・機械類と部品	28.03	0.13	0.78	8.94	-11.3%	-17.0%	-42.9%	-15.5%	-1.1%	0.0%	-0.2%	-0.5%
87 - 自動車、自動車部品など	23.68	0.02	18.18	4.73	-12.6%	-67.0%	-8.6%	-20.7%	-1.1%	0.0%	-0.5%	-0.4%
71 - 貴金属・宝飾品	1.56	0.00	0.00	0.02	-66.6%	-15.8%	-74.3%	-60.0%	-1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
52 - 綿及び綿織物	1.99	0.00	0.04	1.94	-55.4%	116.4%	-65.8%	-55.2%	-0.8%	0.0%	0.0%	-0.7%
26 - 鉱石、スラグ及び灰	0.29	0.00	0.10	0.19	-88.1%	2431.9%	-95.3%	-49.7%	-0.7%	0.0%	-0.6%	-0.1%
39 - プラスチック及びその製品	12.73	0.06	0.30	10.08	-12.3%	-32.8%	-37.5%	-11.7%	-0.6%	0.0%	-0.1%	-0.4%
76 - アルミニウム及びその製品	2.05	0.01	0.23	1.65	-43.4%	12.2%	0.5%	-48.8%	-0.5%	0.0%	0.0%	-0.5%
72 - 鉄鋼	0.69	0.02	0.05	0.54	-68.4%	17.8%	-93.5%	-59.0%	-0.5%	0.0%	-0.2%	-0.2%
47 - パルプ・古紙類	5.89	0.00	0.80	5.09	-19.4%	-97.0%	-33.2%	-16.3%	-0.4%	0.0%	-0.1%	-0.3%
24 - たばこ類	0.00	0.00	0.00	0.00	-100.0%	-72.4%	n/a	-100.0%	-0.4%	0.0%	0.0%	-0.4%
29 - 有機化学品	5.72	0.02	2.05	2.32	-17.8%	4.1%	-33.3%	-20.8%	-0.4%	0.0%	-0.3%	-0.2%
88 - 航空機など	32.46	0.02	0.01	0.19	-3.2%	16.6%	65.7%	-11.4%	-0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
22 - 飲料、アルコール及び食酢	0.17	0.00	0.00	0.15	-84.5%	10.6%	-99.6%	-37.5%	-0.3%	0.0%	-0.3%	0.0%

41 - 原皮(毛皮を除く。)及び革	1.57	0.00	0.01	1.47	-35.4%	72.9%	-67.6%	-36.8%	-0.3%	0.0%	0.0%	-0.3%
03 - 魚介類	2.08	0.04	0.57	0.94	-23.2%	-49.5%	11.8%	-15.7%	-0.2%	0.0%	0.0%	-0.1%
73 - 鉄鋼製品	1.47	0.02	0.06	0.71	-26.7%	-23.1%	-16.5%	-23.9%	-0.2%	0.0%	0.0%	-0.1%
その他	107.92	0.42	2.48	25.47	12.1%	-6.5%	-14.0%	-12.0%	3.6%	0.0%	-0.1%	-1.1%
合計	259.94	0.78	50.94	70.38	-18.8%	-16.7%	-46.5%	-26.0%	-18.8%	0.0%	-13.8%	-7.7%

データ出所：デカルト・データマイน์

5. 考察

本稿では、19年第一四半期におけるアジア・米国間の輸送形態別の貿易額の状況を振り返った。その結果、中国からの輸出減は半導体、電気機器類など高付加価値品を中心とした航空輸送、さらには海上コンテナ輸送の減少が中心となっていることが確認された。また、これら品目の航空輸送を韓国や台湾、ベトナムが中心となってカバーしていることもわかった。さらに、海上コンテナ輸送においても中国からの軽工業品の輸出減が続き、これを東南アジアやインドなどがカバーしている。

軽工業品の海上コンテナ輸送品目は、近年中国から東南アジアや南アジアへの生産拠点の移行が進行中であり、その移行を貿易戦争が促進していると考えられる。また、韓国や台湾からの輸出増は、貿易戦争の影響を回避するため、中国の生産拠点、輸出拠点を移動したために起こったとみられる。しかし、両国ともに人件費などが安い国ではないため、今後、両国に拠点を置く荷主や物流会社がサプライチェーンの変更を考慮する可能性は高い。

米国からアジア諸国への輸出については、中国向け輸出額の減少分をインド、台湾、日本、タイ、韓国がカバーしている。とくにインド、韓国、日本向け輸出ではシェールオイルやLPGを中心としたタンカー貨物の増加が著しい。中国向け輸出で減少が大きいのはコンテナ以外の海上貨物と海上コンテナ貨物であり、前者ではシェールオイルやLPG、大豆などが減少、後者では銅、木材、綿の減少が大きい。一方で、海上コンテナ輸送や航空輸送では中国向け輸出額の減少を他の国がカバーする様子はあまり見られていない。

アジア各国と米国間の貿易総額を見ると、アジア各国から米国への輸出額は2,423.8億ドルで前年同期比1.4%減、世界から米国への輸出額は5,984.7億ドルで同0.1%減となった。うち中国からの輸出は1,059.7億ドルで同13.9%減となり、減少が際立っている。米国からアジア各国への輸出額は1,043.5億ドルで同3.9%減、世界全体への輸出額は4,082.2億ドルで同1.4%増であるが、中国向け輸出は259.9億ドルと同18.8%減となった。貿易収支をみると中国との間では799.8億ドルの赤字減と12.2%の改善が見られている。ただし、アジア全体との貿易収支は1,380.3億ドルで0.5%の赤字増となった。この結果から判断する限り、米中貿易戦争のもたらすものは、米国向け輸出拠点のさらなる移行と中国発着貨物の一定程度の減少といえる。政治的側面、技術移転などの問題を捨象した貿易収支では、前回も述べたとおり、相手国が変わるだけで終わる可能性が高い。

以上